

## 中長期計画策定にあたって

### 1 中長期計画のねらい

中長期計画策定については、本計画を羅針盤にして教職員が同じ方向を向いて業務を執行すること、多くの教職員が関係して計画を作り上げることを念頭に置いて策定作業を進めてきた。

### 2 本計画の位置づけ

中長期計画は、学園経営の基本的計画となる「最上位計画」であり、学園経営を進めていく上での指針となるもの。

本計画は、「基本理念」→「基本計画」→「実施計画」→「行動計画」「評価指標」の階層に基づき構成する。従って、今後学園が取り組もうとする教育研究及びその基盤となる学園経営強化に向けた取り組みを具体的に記載している。

### 3 計画期間

令和4年度（2022年度）から令和8年度（2026年度）までの5年間

### 4 計画階層の整理

計画については、「建学の精神」、「校訓」、「教育目標」を達成するため、基本理念の「経営」、「教育」、「連携」の内容を盛り込んだ学園の目指すべき方向性として、基本計画を策定した。基本計画を達成するために各学校、事務局ごとに「実施計画」、具体的な内容の「行動計画」、目標値を示す「評価指標」を策定し、明確な目標に向けて計画的に事業を推進できる計画とした。

### 5 本計画の実効性の担保

計画の実効性を高めるために、毎年度末に事業評価を行い評価・検証・改善・実行のPDCAサイクルを導入して進捗状況を管理する。

事業評価の実施時期については、年度の間時点の上半期終了時点での期中及び年度末の期末での進捗状況点検を行う。

### 6 状況変化への対応

この計画を推進していく中で、新しい課題等が発生した時は、速やかに対処する。

# 基本理念

日本大学の目的および使命、佐野日本大学学園の建学の精神、校訓および各学校の教育目標等に基づき、学生・生徒に選ばれ永続的な学園経営を目指す。

「経営」、「教育」、「連携」について個別のビジョンを掲げ、ビジョン実現のため基本計画を編成し、具体的な行動計画を策定する。

## 基本計画

### 1 経営

#### (1) 財務基盤の確立と持続可能な学校経営

事業活動収支決算の黒字化及び資金収支決算の前受金以上の翌年度繰越金の確保により、持続可能な学園経営を目指す。

教学・事務全般に渡り、A I・ビッグデータを活用して学校経営の効率化・最適化を図る。

#### (2) シンプルで効率的・効果的な組織体制

法人と各学校間の事務のあり方、事務分担について効率的で効果的な組織体制を構築する。

各学校においては、教育効果の上がる組織体制とする。

#### (3) 教職員の能力を最大限に発揮できる人事

教員については、資質能力の向上を図り、学生・生徒への指導力を強化する。

職員については、定期的な人事異動により、各分野の事務を経験し事務処理能力の向上を図り、必要な業務研修を行う。

#### (4) 安全で充実した教育に活用できる施設管理

施設設備を適切に管理し機能を確保するため、予防保全を前提とした施設設備の保全計画により、長寿命化を図る。

#### (5) 危機管理とコンプライアンス

起こりうる危機や危機が発生したときに何をすれば影響を最小化できるか、危機からの早期回復のために何をすればよいか検討する。

社会規範に従い、高い倫理観と良識を持って行動するため、コンプライアンス体制の確立を目指す。

## 2 教育

### (1)各学校の使命の明確化

「建学の精神」、「教育理念」、「校訓」を基軸とした教育を行い、各学校の使命や目指すべき学生・生徒像を明確化し、学生・生徒を育成する。

### (2)各学校における「学習者像（心得）」の明確化

学生・生徒の学習に向かう姿勢を明確にして学習指導を行い、学園としての人づくりを目指す。

### (3)教育力の向上

教員研修の充実や安定した教育力を担保するシステムの構築を行い、教育力の向上を目指す。

### (4)学生・生徒・保護者への支援

カウンセリング機能の強化や「教職員のカウンセラー化」を目指し、きめ細やかな対応ができる体制を整備する。

### (5)学生・生徒から選ばれる学校

希望進路の実現を基軸に置き、進学実績の向上、就職率の向上を目指す。本学園の強みを活かし、ウィズコロナの時代の対応力を向上し、他校との差別化を図る。

### (6)学生・生徒の確保

広報募集体制における高校・中等の一本化など効果的な組織の再構築を行う。あらゆる媒体を活用し、短大・高校・中等の情報を効果的に提供する。保護者・同窓生の活用や地域との連携強化を図る。

### (7)危機管理

危機対応のための平常時からの準備や訓練を行い、緊急事態に備える。学生・生徒への防災教育を実施する。

### 3 連携

#### (1)行政との協働による社会貢献 「地域に認められる学校」

佐野市と学校法人佐野日本大学学園との相互協力・連携に関する協定書により行政の各分野と本学園との連携強化を図る。

栃木県やその他の機関との連携を図る。

#### (2)地域との連携協力関係の強化 「地域から愛される学校」

地域住民の皆さんに学園を「知っていただき」、「理解していただき」、そして「訪れていただく」ことにより、連携を深め地域に愛される学園を目指す。

#### (3)同窓会、校友会、後援会等との連携支援 「絆の強化」

多くの会員による会の継続的な活動を行い、本学園との絆を深め、学園のPRや支援活動など学園との連携強化を図る。

新たに、あらゆる業種で活躍している卒業生の交流の場を作り、在校生・卒業生を含めて魅力ある学園であり続けることを目指す。

#### (4)日本大学との連携

日本大学の各学部の専門的な研究テーマを活用して、本校および佐野市の各課題解決ための連携を図る。